

まん
なか

院長交代

新院長の意気込み

新院長 大蔵 隆文

名誉院長 風谷 幸男

2025.8
夏号

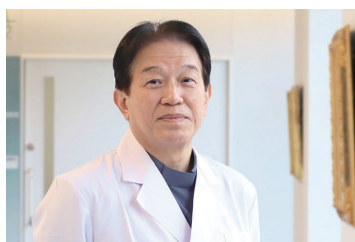
新院長 大蔵隆文 プロフィール

福岡県北九州市出身。1986年愛媛大学医学部卒業後、同大学病院、松山赤十字病院、JCHO宇和島病院で研修後、愛媛大学に戻り研究及び臨床を行い、循環器専門医と腎臓専門医を取得。2017年、恩師の縁で市立八幡浜総合病院にサテライトを有する地域救急医療学講座の教授に就任し、3年後、市立八幡浜総合病院の院長に就任。

●資格：日本内科学会総合専門医・指導医、日本循環器学会専門医・Fellow of Japanese Circulation Society (FJCS)・指導医、日本腎臓学会専門医・指導医、日本高血圧学会専門医・指導医、日本心臓学会Fellow of Japanese Collage of Cardiology (FJCC)、日本老年病学会専門医・指導医

●趣味：『鬼滅の刃』鑑賞、関連グッズの収集

職員全員で協力して病院を運営する



私は前任の病院で5年間院長を務めました。その間の大半は新型コロナウイルスへの対応に追われていました。コロナ禍での病院運営に関しては、院長が求心力をいかに

発揮するかを問われたように思います。ポストコロナにおいては、職員全員が協力し合い、多様な意見を取り入れ、その中で、院長は最終的な判断を下し、その結果に責任を負う立場だと思っています。

今後の当院の新たな変化

今年度から耳鼻咽喉科に常勤医が着任し、来年度には泌尿器科にも常勤医の赴任が予定されています。これにより、手術支援ロボットの導入も視野に入れています。また、今年度心臓カテーテル装置は更新が完了し、さらに、近い将来にはMRI装置の更新も予定しています。今後も設備の充実を図り、

診療体制のさらなる強化を目指しています。

腎機能を守る医療を地域に届けるために

当院では2025年4月より腎臓内科を標榜しています。愛媛県内では腎臓専門医の不足が指摘され、地域医療の課題となっています。幸い近年では、内科的治療が進歩し、透析に至らないための早期介入が可能となり、透析患者数も減少傾向にあります。腎機能を守るための医療が着実に確立されつつある今、当院においても腎疾患の早期発見・治療を提供し、地域に貢献していきたいと考えています。

当院腎臓内科へご紹介のタイミングとは

腎疾患を合併する患者さんの多くは慢性に経過し、同じ治療を長年継続されていることが多いかと思います。その中で、「このまま経過観察を続けてよいのだろうか」と少しでも疑問を感じられた場合には、ぜひお気軽に当院腎臓内科にご紹介ください。

地域完結型医療の実現に向け連携強化を

病院は「地域と共に成長し続ける存在」であるべきだと考えています。病院がいくら連携を強化したいと考えても、信頼されなければ真の連携は成立しません。地域完結型医療の実現のためには、信頼される医療を提供し、地域の医療機関の皆さまとも緊密に連携していくことが欠かせません。

一歩ずつ着実に前進してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



インタビュー全文はこちら▶



Hello Doctor

当院ドクターの人柄や得意分野をご紹介します

質問内容

- ①出身大学・卒業年
- ②医師を志したきっかけ
- ③得意としている分野
- ④自分を家電に例えると
- ⑤当院で挑戦してみたいこと
- ⑥将来の夢
- ⑦地域の先生方へひとこと

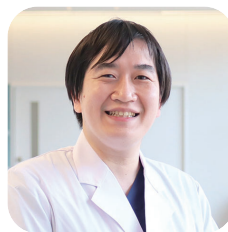


えのもと だいじろう
榎本 大次郎
(循環器内科)



愛犬と大根

- ①愛媛大学・2002年。
生まれは愛知県ですが、18才から愛媛で大学生活を送りました。
- ②特に無いんです。
自然に導かれました。
- ③生き物が好きなので、犬や魚を飼育したり、家庭菜園で野菜を作ったりします。
- ④アイロン(スベリがちなので)
- ⑤何か運動を始めたいです。
- ⑥50才目前なので、ここから渋いイケオジを目指します。
- ⑦今年から内科業務に携わります。ご紹介の症例には、なるべく筆まめな対応を心がけますのでよろしくお願いいたします。



よしまつ けいすけ
吉松 佳祐
(小児科)



タオル美術館にて

- ①愛媛大学・2019年
- ②父が小児科医で、幼少期から関心を持っていたから
- ③小児内分泌(低身長など)
- ④こたつ
- ⑤小児の発達に関して症例を通じて経験を積みたい
- ⑥愛媛の小児医療に長く貢献する
- ⑦気軽にご相談ください!

TOPICS

当院にまつわるニュースをお伝えします

第3回 地域医療連携懇話会

7月12日、第3回地域医療連携懇話会を開催し、多くの医療機関や行政の皆さまにご参加いただきました。誠にありがとうございました。



血管造影装置が新しくなりました

SHIMADZU社製「Trinias B12s」

バイプレーン方式により、同時に2方向からの撮影が行える構造で、撮影回数や検査時間の軽減が期待され、旧装置に比べて被ばく線量が平均40%以上低減されています。(当院5年間実測値データ比)



編集後記 vol.8「勉強会」

4月17日、第2回地域医療連携懇話会—勉強会編—を開催いたしました。「心不全パネデミックに備える」をテーマに、医師・薬剤師など院外から29名の方にご参加いただきました。患者さんが住み慣れた地域で安心して暮らすには、病病連携や薬薬連携が重要であることを改めて実感しました。次回の勉強会は冬頃開催予定です。皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。(松尾)



発行

西条中央病院 地域医療連携室

〒793-0027 愛媛県西条市朔日市804番地

TEL 0897-47-3768 (直通)

FAX 0897-47-4761 (直通)

西条中央病院HP

<https://www.saijo-c-hospital.jp/>

地域医療連携室HP

<https://www.saijo-c-hospital.jp/medical/rml/>



公式Instagram ウイメンズLOVE

https://www.instagram.com/saijo_central_hospital/



公式YouTubeチャンネル

[@user-tc8cn6qr7k](https://www.youtube.com/@user-tc8cn6qr7k)

